

子ども

力の伸びを感じながら、なかまとともに歩むことができるから幸せ

- ◎ 自ら考え、判断し、表現する力を身の習得
  - 自分にあったペースで多様な人と関わり合いながら夢中で探究
  - たてわり活動を通して、主体的に行動できる力の伸長
- ◎ 自他のよさや可能性に気付き、ともに自己実現を図る
  - めあてをもって取り組み、力の伸びを振り返る
  - かかわり合い、認め合うことで自他の成長を実感
- ◎ 集団での活動を通して、思いやりの心の育成
  - なかまと対話して学びを深めていく学級集団づくり
  - 互いを思いやり助け合うたてわり活動の推進
- ◎ 集団の一員としての規範意識について考え、自ら実践
  - I N G ●あいさつ ●手洗い ●名札 ●校内歩行等

学校・家庭・地域が



地域 教職員

育む橘っ子

地域

地域の一員である子どもが生き生きとしているから幸せ

学校の様子がよくわかり、安心して通学させることができるから幸せ

保護者

- ◎ 開かれた学校づくり
  - 参観・参加しやすい教育活動
  - 学校だよりや学年だより、学校HPによる発信
  - 学校評価の実施と結果の公表
  - あいさつ運動の実施
- ◎ 迅速で、きめ細やかな連絡相談体制
  - 教育に関わる情報共有
  - スクールカウンセラーによる相談
- ◎ 健康と安全にかかる取り組み
  - 引き取り訓練
  - あんしんメールの活用

- ◎ 協働して子ども一人一人のよさを伸ばす
  - たてわり活動の充実 ●子ども情報の伝え合い
  - 教育相談の充実 ●子どもへのかかわり方の研修
- ◎ 授業力向上を目指す校内研修●授業研究の実施
  - 努力点研究 ●講師を招いての研修
- ◎ 共通理解
  - たてわり活動の経緯と意義
  - 「橘の火」の継承

教職員

『チーム橘』として子どもとともに共に伸びることができるから幸せ